

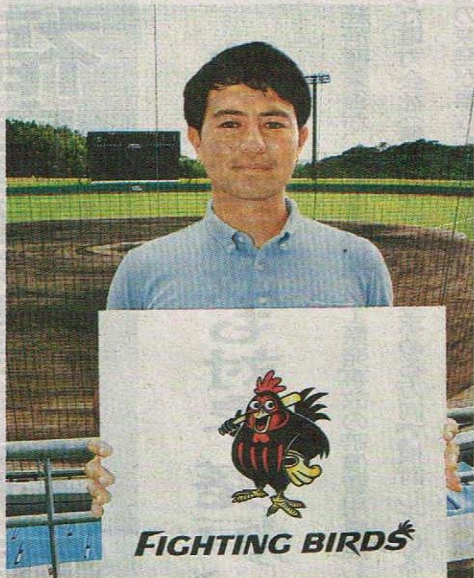
# この人

野球独立リーグ「ベースボール・ファーストリイグ」(BFL)に来春から、立つ人間を育てること。野球に夢を抱く若者を温かく見守り、育ててくれる環境が紀南の地にはあるとい

山ファイティングバーズが参入する。球団の理事として新チーム発足に向け奔走中。「和歌山の成功がリーグ活性化の鍵になる。野球で地域を元気にしたい」と決意を込める。

## 野球で地域に活力を

ず、独立リーグの球団へ。各球団を渡り歩いた。在籍していた神戸市の球団が2010年に活動を休止。中心選手を率いて兵庫県三田市に「兵庫ブルーサンダーズ」を設立した。昨年8月、田辺市の田辺スポーツパーク野球場であった紀南ベースボールフェスティバルに「兵庫」が参加した。空港に近い立地や温暖な気候、充実した設備、それに人々の温かさに触れ「これほど野球の環境が整っているのは全国でここしかない」と確信。地元企業などを回って協力者を募り、10カ月で新球団設立の発表に至った。



和歌山ファイティングバーズ理事  
高下 沢さん(32)

「つげ・たく」広島県市出身。子どもの頃から「嫌になるほどやった」という野球への情熱は高まるばかりだ

ファイティングバーズは5日、田辺スポーツパークで入団テストをして選手25人を決める。田辺や上富田など県内の球場がホームグラウンドになり、BFLの3チームと年間を通して試合をする。球団を運営していくには、入場料収入やスポンサーの協力が不可欠だ。「主役はお客さん。ファンサービスができる選手を育てる。地域に貢献する活動にも参加させたい」

「BFLのアジア展開」という大きな目標もある。台湾や韓国、中国などの選手を受け入れ、日本からも選手を送り出して市場を活性化させる。一年代別に野球の国際大会を開きたい。スポーツ観光に力を入れていく紀南がアジア展開の拠点になる」と熱く語った。(保富一成)